



# 起業 企業

# をサポート!

起業をお考えのかたや企業の業務拡大を支援する各種補助制度をご利用ください。詳しくは、秋田市創業支援ポータルサイト「アキチャレ」をご覧ください。 <http://www.akitchallenge.jp/>



問い合わせは  
商工貿易振興課へ

- ①②は創業支援担当 ☎(8888)57209
- ③④は貿易振興担当 ☎(8888)57300
- ⑤は商工振興担当 ☎(8888)57288



## ③ 秋田産品などの海外展開に補助金



秋田港からコンテナ貨物で秋田産品などを輸出し、海外の見本市などに出席する市内の企業へ補助金を支給します。交付は審査により決定します。

## ⑤ 中心市街地への出店をお考えのかたへ

中心市街地に出店する事業主に対して、改装費と賃借料を補助する「中心市街地商業集積促進事業」について、今年度から、その対象エリアを拡大し、補助要件も緩和することになりました。

## ① 夢へのステップ! “チャレンジショップ”

中心市街地の空きテナントにオープンする「チャレンジショップ」へ出店しませんか。市では、出店者が、経営指導やイベント企画などのサポートを受けながら、実践の中で経営のノウハウを習得できるようにお手伝いします。

## ② 法人の事業開始に創業支援補助



秋田市内で法人を設立して新たな事業を始めようとするかたに対し、費用の一部を補助します。

- ①創業支援補助金  
補助率50%・限度額50万円
- ②女性創業支援補助金(女性が対象)  
補助率75%・限度額75万円
- ③Aターン創業支援補助金  
補助率50%・限度額30万円または100万円(①または②との併用も可)

## ④ 秋田港からのコンテナ輸送に奨励金

秋田港からコンテナ貨物で商品類を輸出・輸入している市内企業のうち、対象年度実績が30TEU(≡容量の単位)以下の小口荷主(混載荷主は除く)へ奨励金を支給します。

- ①改装費の5分の2、限度額100万円
- ②賃借料の2分の1で12か月分、限度額150万円
- ③小売業・サービス業などが対象

- ①改装費は現行どおり
- ②賃借料の2分の1で24か月分、限度額150万円(ただし、場所により現行どおり)
- ③宣伝広告費の5分の2を補助、限度額20万円
- ④ほぼすべての業種が対象

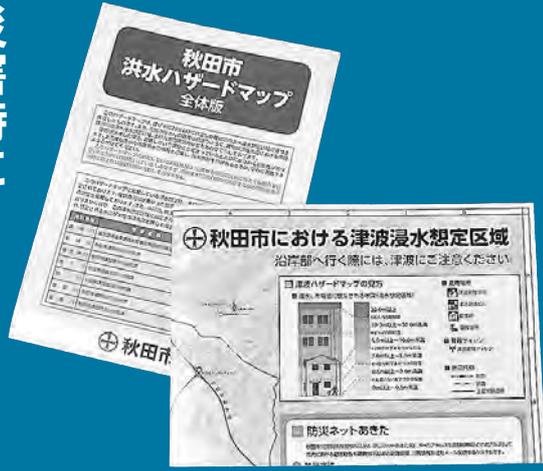
募集区画▶4区画(予定)。1区画約6・6㎡で最大2区画まで利用可能  
賃借料▶1区画1万円(30日単位)  
申し込み▶ポータルサイト「アキチャレ」にある応募要領をよく読んで、4月17日(月)までにお申し込みください

補助内容▶①②≡事業拠点費、設備費、機械器具費、広告宣伝費など  
募集期限▶来年1月19日(金)まで。申請は毎月月末締めで、翌月上旬に審査会を開催し採否を決定します

秋田港からコンテナ貨物で商品類を輸出・輸入している市内企業のうち、対象年度実績が30TEU(≡容量の単位)以下の小口荷主(混載荷主は除く)へ奨励金を支給します。  
奨励金額▶1企業5TEUまで▶ドラアイコンテナ1TEUあたり5万円、リーフアーアイコンテナ1TEU7万円  
申込期限▶6月30日(金)

\*店舗は、同課ホームページにある「空き店舗データベース」の登録物件が対象です。

# 「津波ハザードマップ」「洪水ハザードマップ」を全戸配布しました



災害時に命を守るための情報が載っています。今すぐご確認ください

マップが届いていない場合は、防災安全対策課へご連絡ください。

☎(8888)5434  
FAX(8888)5435

市では、「津波ハザードマップ」と「洪水ハザードマップ」を全世帯に配布しました。マップは、各地域ごとに津波や洪水が起きた時の浸水想定区域を表示しているほか、近隣の「津波避難ビル」「津波避難場所」など、命を守るための大切な情報を掲載しています。天災は忘れた頃にやってくる。今一度、マップに記載している内容をご確認ください。

## ◆津波に備えて…

- ▼大津波警報・津波警報・津波注意報などが発表された時は、「早く！遠く！高く！」を忘れず、津波浸水想定区域外へ避難しましょう
- ▼時間的に余裕がない場合は、最寄りの津波避難ビルや高台へ避難しましょう
- ▼津波が川を遡上する可能性もありますので、津波警報などが発表された時には、絶対に川に近づかないでください
- ▼津波災害の指定緊急避難場所は、左記のマークで表示しています



津波避難ビル 津波避難場所

## ◆洪水に備えて…

- ▼気象情報に注意して、早めに避難を開始し、川やがけのそばを避けるよう心掛けましょう
- ▼道路の冠水などで、避難所などへ避難するのが危険な場合は、無理に向かわず、自宅の2階や最寄りの頑丈な建物へ待避するなど、身の安全を確保する行動をとりましょう



地震、津波、洪水時の避難場所が同じとは限りません。配布されたマップをよくご覧になって、それぞれの場合の避難場所や、ご自身がとるべき行動などを確認しておきましょう

## ドローンで災害時の情報収集に協力

3月13日、市と「秋田ドローンコミュニティ」が、「災害時における無人航空機による協力に関する協定」を締結しました。

協定では、ドローン(無人航空機)を活用して、大規模災害時の被災状況などを撮影し、情報収集に協力することなどを定めています。

秋田ドローンコミュニティは、県内外の会員を中心とした組織で、その普及に努めている団体です。

☎(8888)5434



締結式会場内で行ったドローンのデモ飛行